ちよだ 区議会だより

No. 229
平成28年8月4日
編集: 区議会だより編集委員会
発行: 千代田区議会
〒102 - 8688 千代田区九段南1-2-1
☎ 3264-2111 内線3315
ファクシミリ 3288–5920

第２回 定例区議会

和田倉噴水公園

トップニュース Top News

「お茶の水小学校・幼稚園を可及的速やかに現在地において建てかえることを求める陳情」を賛成多数で採択

本年度中に改築設計作業に着手するとともに現地建て替えを要請(詳細は本文P8、P9をご覧ください)

■平成28年度千代田区一般会計補正予算第1号を可決

補正前の額558億5,809万9,000円に、5,637万3,000円の予算額が追加されました。「東京都知事選挙」に係る経費の追加です。

■千代田区家庭的保育事業等の認可に係る設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例を可決

小規模保育事業所A型及び保育所型事業所内保育事業所の保育士配置要件を当分の間特例的に緩和するとともに、建築基準法施行令の改正に伴い、規定を整備するものです。

主な内容

●代表質問 …… 2～3面
●一般質問 …… 4～5面
●定例区議会活動報告等 …… 6～9面
●委員会で取り扱った請願・陳情等 …… 10～11面
●議案の審議結果等 …… 12面

提案された議案等

◆区長提出議案等
- 条例 …… 2件
- 予算、契約等 …… 3件
- 報告 …… 2件

◆議員提出議案
- 意見書 …… 2件

◆請願 …… 1件
◆特別委員会中間報告 …… 1件

●ホームページアドレス
http://kugikai.city.chiyoda.tokyo.jp
●メールアドレス
kugikai@city.chiyoda.lg.jp

<QRコード>

＊この区議会だよりは、区議会ホームページでもご覧になれます。区議会ホームページでは、「区議会日程」や「キッズページ」等を掲載しています。また、区議会の最新情報をお届けする「メールマガジン」も発行していますので、どうぞご利用ください。

平成28年第2回定例区議会

代表質問（要旨）

※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。

自由民主党議員団

桜井 ただし

国有地を活用した福祉施設整備

問 二番町の国有地を活用し①高齢者施設の整備を早急に検討するとのこと。その現状は②老人保健施設の整備検討を③障害者施設の併設は可能か。

答 ①定期借地権により借り受けたい旨を国に伝えた。今後整備内容の具体化を図っていく②区内医療機関による整備を支援することも含め検討③他の用地での整備を積極的に検討。

地域コミュニティと災害対策

問 ①地域の交流が災害対策につながる。マンション住民の町会加入を促す規約改正について、地域での検討状況は②復旧・復興には、罹災証明の迅速な発行が重要。そのための検証と対策は。

答 ①連合町会長と神田公園地区の町会長が研究会を開催。モデル案が策定され、一部で規約改正も行われた②他の自治体等の検証結果を区の実情に当てはめ、人員配置や業務量を検証。

風ぐるまの運行について

問 ①新車両・新ルートに移行後、利用者の意見・要望は②アンケート等で明らかになった課題と見直しの予定は。

答 ①福祉施設へのアクセス向上、地区による停留所の偏在是正、区民パスポートの値下げ等②運行ルート、停留所位置、始発時刻について、見直し・改善を8月中に行う予定。

自由民主党 新しい千代田

はやお 恭一

平成28年度予算案の減額修正

問 ①観光協会補助事業費の減額修正が議会の議決を経て機関決定されたことに対し、どう捉えどう対応してきたか②報道記事では減額修正に至った経緯について、区長の「議会に理解してもらえず残念」、観光協会職員の「区と議会は折り合いを」といったコメントが出ている。このようなマスコミ媒体への区側の発言を区長はどう受け止め、今後どのように対応されるつもりか。

答 ①減額決定は真摯に受け止め、審議における意見や指示を再確認し、観光協会へ改善指示した②取材には「努力が実を結ばないことがある」との趣旨で答えた。記事に対してはコメントしない。また、職員が一定程度自由に発言できる組織が健全と考える。

政策研究所の進捗と人材育成

問 本会派では予算・決算の総括質問を通し区職員の人材育成に関する質問を6年近く継続的に投げかけてきた①設置検討中の政策研究所の進捗と過去に設置の政策会議との違いは②区職員の人材育成の課題と今後の方向性は。

答 ①他自治体の事例や専門家の意見等を踏まえ検討中。課題の明確化等に時間を要する。区職員の人材育成に力点を置く点が政策会議と異なる②幅広い考え方で課題に臨むことが困難。担当部署を超えた議論や専門家の活用、大学や企業等との連携の仕組みが必要。

日本共産党区議団

木村 正明

くらしを応援する2つの提案

問 ①区契約下で働く労働者の環境確保のため公契約条例がある。その条例で規定されている賃金下限額を引き上げるべき②返済不要の給付制奨学金創設を国へ働きかけ、区独自制度も創設を。

答 ①条例で定める審議会の議論に基づき、適正な賃金下限額を定めていく②国は創設に向け検討中。区単独制度は、国や他自治体等を参考に研究。

災害に強いまちづくりを

問 ①マンション住民が実施するエレベーター閉じ込め救出訓練への財政的支援を②地域コミュニティ活性化のため、その活動情報を共有できる環境整備を。

答 ①まちみらい千代田が6月から費用助成を開始②チラシやホームページで地域イベント・町会情報を発信する等、情報共有の環境を整備する。

区営住宅・区民館運営について

問 住宅自治会の担い手不足解消のため、子育て世帯向け入居所得基準緩和を。また、区民館は当日利用申込を可とし、申込開始日を前倒しすべき。

答 子育て世帯が多い住宅でも同様の傾向。基準設定よりコミュニティ施策に取り組む中で、方策を検討。当日利用申込は検討する。申込開始日前倒しは利用者懇談会等で意見を聴く。

代表・一般質問は、発言者の責任の下に質問の要旨を掲載しています。

平成28年第2回定例区議会

代表質問（要旨）

※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。

ちよだの声

小林 たかや

免震構造の重要性と区長の認識

問　熊本地震では、耐震基準適合100%の学校が損壊し使用不能となったが、免震構造の病院や市庁舎は被災を免れ、防災拠点として機能継続ができ、免震構造の優位性が判明した。区施設76件中3件が免震構造を採用している①そのうち麹町小学校で採用された理由は②その後に建て替えられた子ども施設が免震構造とならなかった理由は③現在耐震構造で建て替え中の九段小学校は、既に工期が延長されており、この際、免震に改めるべき④今後新設施設は免震構造を採用すべき⑤麹町小以外の2件の公共施設で免震構造が採用された。その理由は⑥建て替え計画中の万世橋出張所の建築構造は。

答　①免震構造は敷地に余裕があることが必須。条件が適合したため採用②敷地形状や設計条件、経済条件・施工期間等を総合的に検討した結果③免震に改めるには全面的な設計見直しが必要。既に着工しているため、現実的な対応ではない④個々の建物の条件により最適な構造方法を選択⑤かがやきプラザは病院との合築であり、被災時の機能低下を最小限に抑え、平常業務への早期復旧が必要なため。区営東松下町住宅は「高層部分の揺れの抑制と柱や梁の構造体の縮小により居住空間の向上を図る」とする設計者選定時の提案を採用した⑥耐震構造の予定だが今後の詳細な設計を進める中で決定する。

区立小唯一の優れた免震構造の麹町小

千代田を紡ぐ会・民進

岩佐 りょう子

介護士・保育士の支援、負担軽減

問　介護・保育の現場負担は大きい。さらなる人材確保・育成支援を①住民に限定しない介護職・保育職等に対する就業支援制度の創設②子育てを理由とした離職を減らすため、子連れで働ける事業所内保育等に取り組む企業に支援を③施設の大規模修繕への助成、介護職・保育職以外のスタッフへの支援を。

答　①資格取得のための準備支援は、給付型奨学金制度で検討②③国、都の動向を踏まえ、区独自の支援策も推進。有資格者の掘り起こし施策も検討。

児童相談所開設に向けて

問　法改正により23区にも設置が可能となった。区の対応を問う①人材確保、育成、職員定数見直しは②養子縁組・里親委託の推進と、児童相談所で扱った子どもの将来への対応は。

答　①専門職の採用増、都職員の派遣要請。区職員の都相談所への派遣研修。定数は適切に対応②里親、養子縁組制度の普及啓発、自立生活援助等で18歳まで必ずフォローする仕組みを検討。

千代田デザインの届出について

問　区独自のデザインを施したご当地婚姻届・出生届を作成し、地域活性化手段の1つとして取り入れてはどうか。

答　魅力発信の手段として検討する。

ご当地婚姻届（イメージ）

公明党議員団

大串 ひろやす

安心して生み育てられるまちへ

問　核家族化の進展と地域コミュニティの希薄化により、子育て家庭が地域で孤立し、母親の負担や不安が増している。妊娠から出産、産後、育児まで切れ目のない支援が今求められている①切れ目ない支援について基本的な考え方は②支援体制の整備は。

答　①切れ目ない支援は重要と考え、これまでも積極的に進めてきた。今後、産後ケアも含めて各部が連携し、妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援ができるよう組織執行体制を見直していく②国の制度である「子育て世代包括支援センター」の仕組みを取り入れた妊娠期から子育てまで切れ目なく支援できる体制の整備を検討していく。

子育てコーディネーターの役割

問　家族を孤立、疲弊させないため子育てコーディネーターの役割は重要である①果たすべき役割は②配置場所と支援拠点は③支援プランの作成は。

答　①子育てに一人で悩む「孤独な子育て」に陥らないために、悩みを抱える保護者に寄り添う形で信頼を得ながら相談を受け助言等を行う②区役所2階で相談業務を実施。10月から麹町保育園仮園舎でも実施予定。この2カ所を拠点とし、保育園や児童館等に派遣していく③現在は作成していない。今後、研修内容を充実させ支援プランを提案できるよう人材育成に努める。

代表・一般質問は、発言者の責任の下に質問の要旨を掲載しています。

平成28年第2回定例区議会

一般質問（要旨）

※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。

小枝 すみ子 （声）

千桜小マンション開発

問 ①住宅価格、戸数、高さの変更理由は②住民登録を義務化すべき③杭打ち等の建物の安全性は。

答 ①価格増は建築コスト高騰と当初価格に借地権設定の権利金、借地料を含めたため。戸数増は事務所用を住宅へ変更したため。地元の要望で空地を増やしたため、高さで調整②住民登録は必須③基礎の杭は支持層まで到達。第三者の検査機関が適正施工を確認済。

千桜タワー

内田 直之 （自民）

民泊へ慎重な対応を求める

問 規制緩和には慎重に対応し、住民や貸し手に民泊の正しい知識を周知することが必要。

答 当面、条例改正による緩和は行わない。正しい理解のため近日中にリーフレットを作成し、配布・周知する。

防災訓練への図上訓練導入

問 人材育成や地域コミュニティに有効な災害図上訓練「DIG」・避難所運営ゲーム「HUG」を、地域防災訓練に試験導入しては。

答 住民同士で力を合わせる「協助」を強化するための新たな訓練形態として、検討を進める。

永田 壮一 （自民）

テロ対策について

問 災害だけでなくテロ対策の検討が必要①全庁的な対策会議の開催②警察、自衛隊との連携、共同訓練実施③本庁舎の警備体制強化と人型ロボット導入④住民と警察の交流推進をすべき。

答 ①全庁横断的な会議を開催②26年度に都主催で、「大規模テロ対処訓練」を実施した。今後も関係機関と連携し実施する③庁舎は自由な出入りが前提だが、ロボット導入、警備強化を研究する④警察と調整する。

松本 佳子 （自民）

高齢者施設の現状について

問 ①介護職員の人材確保の取り組みは②事業者のサービスの質の維持・向上策は③介護職員のストレス防止のための取り組みは。

答 ①国基準以上の職員配置の事業者へ助成②事業者、区職員で「介護サービス推進協議会」を設け、情報提供、個別相談等実施③メンタルヘルス対策経費の助成や、区で相談窓口設置。

認知症サポーターについて

問 ①養成の実態②活動内容は③見守りへの関わりは。

答 ①各年代に合わせた講座実施②認知症予防カフェ等地域で継続的活動を実施③区への連絡等の協力依頼。

池田 とものり （自民）

児童発達支援の施設の充実

問 「さくらキッズ」では発達支援の対象が小学1年生まで。2年生以降の対応に不安を抱えている中、18歳まで安心して過ごせる環境整備と支援が必要。

答 0歳から18歳の幅広い支援のため、新たな施設の選定も含めて検討していく。

就労支援事業の拡充計画

問 障がい者が親亡き後でも自立して生活するための自立・就労支援のさらなる改善点・拡充計画は？

答 就職支援や就職後のフォロー、事業主への援助金等を実施しており、事業者向け研修により理解促進を図り、就労支援拡充を行う。

寺沢 文子 （紡民）

アスベストについて

問 ①解体工事を検査する担当職員の育成や検査手法の見直しを②災害時の石綿を含むがれきへの対応は。

答 ①検査手法の見直しについて研究。資格取得や実務・研修等で職員を育成②関連部署が連携し区のがれき処理マニュアルを策定。実践に向け体制整備を検討。

電磁波について

問 ①電磁波過敏症について区の認識は②健康への影響に関する情報提供を。

答 ①症状を訴える方がいることは認識。電磁波との因果関係は明らかでない②最新の研究結果を注視し、正確な情報提供に努める。

秋谷 こうき （民進ク）

開かれた区政

問 ①個別要望を叶えるため、議員が区に働きかける口利き行為に対する区の考えは②インターネット利用の有無等で生じる情報の格差が、受け取れる行政サービスの格差となってはならない。区の対策は③政務活動費の使途に関する住民訴訟では、一部敗訴となった。信頼回復のためには積極的な情報公開が必要。違法判決を受けた区長の考えは。

答 ①議員、区民等からの要望を記録化し、公平、公正な区政運営を推進していく②必要な区政情報を必要な人に適時適切に取得できる仕組みを検討③あくまで区議会自身が決めること。

平成28年第2回定例区議会

一般質問（要旨）

※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。

林 則行（千代田）

至大荘行事調査検証報告書

問　九段中等教育学校長の懲戒処分通知書が懲戒処分取消通知書に至った経緯を調査検証した報告書を踏まえ、教育委員会の再発防止に向けた取り組み、設置者である区長の見解は。

答　第三者委員会の報告書を受け、生徒の処分は校長の意思決定が慎重の上にも慎重かつ適切になされるよう、問題行動に関する処分の基準や手続きを明確にする。

児童相談所（児相）の設置

問　法改正で可能となった児相を、未利用施設の千代田会館10階に設置しては。

答　具体的な業務内容を検討し、場所等を定めていく。

牛尾 耕二郎（共産）

保育の規制緩和に反対

問　保育士数を変えず児童受け入れ枠だけ増加させる等の国の規制緩和は、保育の質を低下させる。見解は。

答　緩和は緊急的なもので、質を低下させないことが前提。その上で私立園誘致等も行い、質を担保しつつ待機児童問題に取り組む。

代替園庭利用の実態調査を

問　園庭の無い民間保育園では、代替園庭や水遊びができる場に移動している。保育士や園児の負担を調べ、軽減する方策を。

答　在来中学校や区立保育園等を開放。また各園の実情を調べ、実態に即し園の負担の無いように取り組む。

米田 かずや（公明）

ちよだ生物多様性について

問　生物多様性推進プランについて、これまでの課題も踏まえた今後の方針は。

答　生物多様性の認知度を高め、推進プランの取り組みを着実に進めるとともに、企業や周辺区との連携も見直しの視点として検討。

生物多様性の今後の可能性

問　①養蜂を活用した学校教育・障害者雇用のモデルがある。区内で検討しては②生物多様性の保全のため、港区、中央区と連携しては。

答　①関係団体の情報を収集、事業化の可能性を模索②緑化のあり方、河川の検査・調査を行う中で、三区合同会議の設置等を検討。

岩田 かずひと（民進ク）

区内の犯罪を減らすために

問　詐欺犯罪に悪用されるレンタル携帯や私設私書箱。事業者の不十分な本人確認には、条例で罰則強化を。

答　罰則強化の前に区として次の取り組みを強化する。①詐欺グループに建物が利用されないように、不動産仲介団体、区内4警察と協定を結ぶ予定②消費者講座、広報等を通じた啓発活動。

空き缶回収機復活について

問　撤廃された空き缶回収機を、子どものリサイクル意識の向上のために復活を。

答　子どもが環境、リサイクルに取り組む契機となるような、空き缶回収機に代わる新たな事業を研究する。

たかざわ 秀行（千代田）

風ぐるまの見直し

問　①新ルート・新型車両移行後の意見を受け、どのように見直すのか②旧型風ぐるまと新型の併用を求める声もある。検討状況は。

答　①運行ルートや停留所の新設、始発場所等の見直しを予定②バリアフリー未対応の旧型は、認可が得難いため併用は困難。

客引き等防止対策

問　警備員を配置して対応するという実証実験の状況は。効果があれば他の地域に範囲を拡大するべき。

答　秋葉原地域で試行的に実施したところ、客引きが激減した。他の地域でも導入を検討していく。

飯島 和子（共産）

保育の「質」について

問　①「質」とは何か②質確保の指針策定が必要③保育士の子どもの保育所優先入所についての見解を問う。

答　①保育士の資質、保育環境や保護者支援等②教育・保育の質を明確化したプログラムを策定。適宜改訂する③保育士の確保につながるが、慎重な判断が必要。引き続き研究する。

歩行者と自転車の安全

問　歩道と分離した自転車走行空間の整備の方針は。

答　現状の課題や今後の道筋等、自転車利用の指針をまとめた。警察等の関係者と調整し、道路状況に即した検討を行う。

平成28年第2回定例区議会

定例区議会活動報告 Activity Report

常任委員会

常任委員会では、区長提出議案4件（条例2件、契約2件）を審査しました。
議案の審査経過等をご紹介します。なお、審議結果は12ページをご覧ください。

企画総務委員会

議案3件のうち主な議案の審査経過は以下のとおりです。

「千代田区地区計画の区域内における建築物等の制限に関する条例の一部を改正する条例」は、風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律の改正に伴い、建築条例の一部を改正するものです。改正内容は、風営法の改正によりナイトクラブ等のうち一部の営業形態が、同法における風俗営業から除外されることとなるが、ナイトクラブ等を規制していた地区計画のうち、風営法の条項を引用していた秋葉原駅付近、外神田二・三丁目、外神田五・六丁目、神田美土代町周辺、神田錦町北部周辺、麹町、内神田一丁目の7地区において、引き続き従前の規制内容を継続させるため、規定を整備するものです。公布の日から施行します。

「西神田コスモス館昇降機改修工事請負契約について」は、西神田コスモス館昇降機を耐震基準に適合した機器へ改修工事をするものです。特命随意契約により、契約金額は「1億8,014万4,000円」、契約の相手方は「株式会社日立ビルシステム」です。

〈審査経過〉

質疑の中で、今回3台のエレベーターを改修するが、居住者の生活に支障が出ないよう、1台ずつ停止をして工事を行うこと。改修にあたっては既存エレベーターの部品を最大限に活かす方法をとることから、既存部分と改修部分の構造・機能の互換性を担保し、ハード・ソフト両面から、安全性・信頼性を高める必要があり、また、故障等の際の責任所在の明確化等を総合的に判断し、競争入札にはなじまないこと。契約金額については、25階の建物で3台のエレベーターを別々に改修するため、安全確保のための間仕切り壁を各階に設置することや警備員の配置が必要であること、エレベーターの撤去・新設の搬入・搬出に際しては、タワークレーン等の大きい重機が使用できないため、分解して人的な措置を取らざるを得ないこと等、さまざまな要素を積算して今回の金額になっており、区関連の他のエレベーター改修費用と比較し、金額の妥当性を確認していること等が明らかになりました。

その他、**「歩道拡幅工事「明大通りI期」請負契約について」**の審査を行いました。

地域保健福祉委員会

区から12件の報告がありました。

その中で、**「平成28年度 風ぐるまの見直し（案）について」**は、1月の新体制での運行開始後、利用者増は図られているものの、従前からの利用者から電話、窓口等で多くの意見・要望が寄せられたとの説明がありました。区ではそれらを踏まえ、アンケート調査及び利用状況調査を実施した結果、アクセス要望が多い公共施設については一部乗り入れルートの見直しや、停留所の位置、運行本数、始発時間の見直し等について検討することとなったものです。見直しの方向性としては①現在の運行ルートを大幅に逸脱しないような簡易な見直しは、夏ごろを目途に実施したいこと②予算を伴う見直しは、平成29年度以降に実施を検討し、関係機関との協議が長引くものは引き続き交渉していくこととしています。今後のスケジュールとしては、6月から警察、道路管理者等関係機関との協議に入り、7月までに、警察による実地調査、地域公共交通会議を経て、運輸局への変更申請、停留所等の条件整備も並行して進め、通常、運輸局への申請後約1カ月で認可されるため、利用者に周知をしていきながら見直し後の運行を開始したいこと等が明らかとなりました。

次に、**「子どものインフルエンザ任意予防接種について」**は、予防接種法に基づかない任意の予防接種であり、本区で実施している助成制度は、助成額が1回あたり2,160円で、対象は、生後6カ月～12歳までは年2回、13歳～中学3年生までは年1回助成を行っているものです。①助成を開始した平成22年度からの接種率は、どの年度も約50%から55%程度で推移していること②インフルエンザワクチンの特徴として、感染防御や発症阻止の効果が高くなく、ワクチンを接種してもインフルエンザに罹患することがあるため、地域での流行を抑えるということには至らず、インフルエンザの流行型が毎年違うことに加え、ワクチン自体の効果が3カ月程度と短いため、毎年接種する必要があること③未就学児での発病予防効果は30%程度と考えられていること④子どものインフルエンザ予防接種に対する助成を実施しているのは4区だけで、本区を含め3区が一部助成、1区が全額助成であること⑤本区で今後助成を拡大するかどうかについては、子育て支援施策全体の中で全庁的に検討していくこと等が明らかとなりました。

平成28年第2回定例区議会

定例区議会活動報告 Activity Report

常任委員会

子育て文教委員会

議案及び陳情の審査経過は以下のとおりです。

「千代田区家庭的保育事業等の認可に係る設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例」は、平成28年2月18日公布された「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準及び家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部を改正する省令」を踏まえ、小規模保育事業所A型及び保育所型事業所内保育事業所の保育士配置要件について、当分の間、特例的な運用により保育士不足に対応できるようにし、あわせて建築基準法施行令の改正に伴い、家庭的保育事業等の避難設備に関することについて規定整備を行うものです。公布の日から施行します。

〈審査経過〉

質疑の中で、現在、対象となる保育事業所はないものの、子どもの増加が見込まれる中、保育需要への対応は認可保育園の整備による対応を第一としつつ、今後、対応できるようにするため体系整備をする必要があること。

一方、保育士不足への対応として、保育士の処遇改善の月額補助や、小規模保育園に対する加算などを実施していること。さらに今年度から、保育士の宿舎を区内で借り上げた場合の補助、産休・育休職員代替の加配のための補助を行うなど保育士の確保に向けた取り組みを行い、保育の質の確保に努めていくこと等が明らかになりました。

〈討論〉

【反対の意見】

保育士は高い専門性が必要。資格がなくても良いとは言えず、基準緩和は保育の質の低下につながり反対する。（牛尾）

【賛成の意見】

保育士に負担がかからないよう区が積極的にカバーし、保育の質を低下させないことを求め、賛成する。（小林た）

特例的に当分の間、保育士の配置を緩和するもので、保育の質を低下させないための対応を求め、賛成する。（池田）

次に**「乳幼児人口の急増に対応した早急な区立幼稚園の定員拡充等を求める陳情」**は①今後の需要と供給見込みを見極め、適切な定員になるよう図ること②私立幼稚園に関する補助金増は難しい状況であるが、適宜検討すること③さまざまな情報を委員会と共有しながら、今後の幼稚園・保育園づくり等について考えていくこととし、審査を終了しました。

特別委員会

オリンピック・パラリンピック対策特別委員会

推進プロジェクトの昨年度の実施状況、大会関連の情報及び本区出身のリオ五輪・柔道日本代表ベイカー茂秋（ましゅう）選手への応援を契機とした気運醸成について区から報告がありました。委員会終了後、ロンドン五輪で設計現場管理業務に携わった建築家・山嵜（やまざき）一也氏を講師に招き、東京オリンピック・パラリンピック成功へ向けた勉強会を実施しました。

公共施設整備特別委員会

用地確保が困難な都市部において介護施設整備を促進するため、国は国有地の積極的な活用を進めることとした。これを受けて、区は二番町の未利用国有地を借り受け、特別養護老人ホーム等の整備を検討していること。また、新スポーツセンターの整備に向けた調査について、契約手続き等を経て調査委託をしたこと等の報告がありました。

マンションと地域コミュニティ活性化特別委員会

マンション事業者による「マンション・カフェ」の取り組みの報告があり、民間の自主的な取り組みは、区やまちみらい千代田の支援が重要との意見がありました。また、再開発を契機にマンション住民の町会加入促進として町会規約改正案作成の事例報告では、その経緯や努力した点など各出張所や連合町会長と情報を共有すること、また出張所やまちみらい千代田のサポートの必要性等について意見がありました。

議会のあり方に関する調査特別委員会

前回の委員会で集約した具体的な調査項目のなかで、速やかに取り組める事項を抽出し、議場スクリーンの活用と長期欠席に伴う議員報酬の見直し等について議論しました。その中で、スクリーンの活用は第3回定例会で試行し、パソコンによる操作確認や活用時のルール等を検討していくこと、本格実施時は詳細なルールづくりが必要なことを確認しました。

お茶の水小学校・幼稚園の改築と周辺地域の整備特別委員会

継続審査となっている「お茶の水小学校・幼稚園を可及的速やかに現在地において建てかえることを求める陳情」の審査をするにあたり、陳情者を参考人として招致し意見聴取するとともに、懇談会を実施しました。その後、陳情審査を行い、採決を行った結果、本陳情は、賛成多数で採択しました。なお、詳細については次ページの中間報告をご覧ください。

平成28年第2回定例区議会

定例区議会活動報告 Activity Report

「お茶の水小学校・幼稚園の改築と周辺地域の整備特別委員会」の調査中間報告(全文)

お茶の水小学校・幼稚園の改築と周辺地域の整備特別委員会の調査内容を中間報告いたします。

お茶の水小学校・幼稚園については、小学校校舎の老朽化や幼稚園の仮園舎が錦華公園の中にあるなど、早急に改築することが、地元住民にとって喫緊の課題です。

こうした状況の中、平成27年第3回定例会の予算・決算特別委員会の総括質疑において、突如、移転建て替えも検討しており、移転先候補地となる土地の保有者と協議していることなどが判明いたしました。

お茶の水小学校･幼稚園の整備については､一旦立ちどまり､現地建て替えを含め、議会と十分協議した上で可及的速やかに進めていくことを本会議において附帯決議するに至りました。

更にこの案件に対し迅速に対応していくため、平成27年10月21日に、当特別委員会を設置し、一日も早く子どもたちにとってより良い環境を整備するため、これまで視察をはじめ11回にわたり調査を重ねて参りました。

このような経過のなか、平成28年6月2日に区長に出席を求め、当特別委員会において集中審議を行い、その後の進捗状況並びに校園舎の建て替えについての考えを改めて確認しました。区長は､｢何も決めていないし､何も指示を出していない｣と発言し、建て替えについては移転構想も選択肢の一つとして検討するとの答弁でした。

「改築後のお茶の水小学校は複合施設にはしない」との答弁以外何ら具体的な答弁がありませんでした。当委員会としては、設置者として区長の責任感ある姿勢を受け止めることができませんでした。

一刻も早く、お茶の水小学校・幼稚園の校舎・園舎建て替えをしなくてはならない教育環境の整備の観点から、執行機関の移転構想にどのくらい時間を要するかも不明であり、いつになったら建て替えができるのかも判断できないことが集中審議を通じて明らかになりました。

当特別委員会としては、本年2月22日に出された1200余名からなる陳情についての結論を速やかに判断する必要性を確認し、6月20日に陳情者である地域住民や保護者を参考人として意見聴取を行いました。参考人は、地元町会関係者などの地域住民、お茶の水小学校・幼稚園の保護者等です。

参考人の意見聴取から明らかになった具体的内容は以下の通りです。

1 現地での建て替えは地域住民の思いであること
2 移転建て替え先は、崖地であり文部科学省の小学校施設整備指針に抵触する疑念があること
3 子どもたちの安全・安心を最優先し出来るだけ早く現地建て替えを決めてもらいたいこと
4 移転建て替えは、公共施設適正配置構想時のように地域を割り、住民を割り、保護者を割ることに他ならないこと
5 移転建て替えは、住民を対立させるだけであり議会が責任を持って建て替え地を判断してもらいたいこと

等です。

参考人からの意見聴取を終了した後、懇談会を行い、

1 保護者の立場からも現地で早く建て替えをしてもらいたいこと
2 自らの経験から、仮校舎がプレハブになったとしても、子どもたちにとっては良い思い出になること
3 移転するといわれている場所は、仮校舎先だと思い校舎自体が移転するとは想像していなかったこと
4 保護者間では、改築そのものを知らない人もいること

等の意見を伺いました。

委員会では、区長に出席していただいて集中審議を行いましたが、早期建て替えの方向性が感じられないことから、委員会としては、本陳情を採決すべきかどうかについて諮ることとしました。

まず、反対の立場から、

1 陳情者の思いは同感であり、重く受けとめるが、学校建て替えについて最も影響のある子どもたちの保護者、教職員の論議が不充分というより、始まっていない現状で、議会が判断することは、現場に混乱を招くので、採決すべきではない

との意見がありました。

一方、賛成の立場から

1 陳情者、参考人の方々の熱い思いが伝わった。その思いを受けて採決まで持っていくべき
2 これだけ陳情者がいれば、これは地域の声ではないか。直ちに安全な校舎に建て替えてほしいという保護者の声を考えると、直ちに採決し、現地建て替えに入っていくべき

との意見がありました。

意見が分かれたことから、委員会としては本陳情を採決すべきか否かを諮ったところ、賛成多数で採決すべきことに決定しました。

次に、本陳情を採択すべきか否かについて、委員全員の意見を聞いたところ、

反対の立場から

1 保護者の意見、地域の意見を聴いていない、確認していない状況で多数決で決めてしまうのはいかがなものか、そして保護者が教育環境についてしっかり情報を得たうえで参画し、意見を言ったうえで決めるべきだと思う。その機会を奪うので、今回の採択には反対をする

2　学校改築の主人公である保護者や教職員に全体像を明らかにし、地域の方々が加わった地元協議会をいち早く立ち上げ、論議を進める事が重要である。これをやらずに、議会が一定の方向を決めることには反対する

等の意見がありました。

また、賛成の立場から

1　移転建て替えは、実現可能性が希薄であり現実性に極めて乏しいこと
2　学校の設置場所は条例案件であり、議会が最終的に判断しなければならず、この陳情を採択することが、早期建て替えになること
3　参考人は、地域や保護者の立場から現地建て替えを要望しており、議会が早急に判断すべきであること
4　現地建て替えの方針を、地域や保護者に示すことが、地域・住民・保護者を割らない唯一の解決方法であること
5　老朽化した校舎・園舎を改善する一番の方法は現地建て替えであること

等の意見がありました。

意見発表を終了し、陳情の採決を行った結果、賛成多数で採択することに決まりました。

これを受けて、執行機関は、当委員会での採決の結果を受け入れ、お茶の水小学校・幼稚園改築は、現地で行うよう強く求めます。また、「ちよだみらいプロジェクト」に記載している通り本年度中に改築設計作業に着手するよう要請をいたします。

加えてこれまで不十分であった地域や保護者に対し、現地建て替え案の説明等を可及的速やかに行い、様々な要望に対して個別具体的に対応をしていくよう重ねて要請し中間報告といたします。

今定例区議会で可決した意見書（要旨）

給付型奨学金の早期の創設を求める意見書

返済不要の給付型奨学金の創設については、政府が6月2日に閣議決定した「一億総活躍プラン」に、また来年度予算を決める際の「骨太方針」に「創設」に向けて検討すると明記されたところであります。

一方、貧困家庭の経済的支援の充実には、国における現在の厳しい財政状況においては限られた財源を課題に集中させることが求められています。

学生が安心して高校や大学に通えるよう、家庭の経済状況にかかわらず、志ある子供たちの夢を徹底支援することは、次世代育成にとって大変重要であります。

国においては、低所得世帯の学生の就学機会を拡大するため、給付型奨学金制度を早期に創設することを求めます。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出します。

（提出先）内閣総理大臣、財務大臣、文部科学大臣

本会議における討論（要旨）

今定例区議会では、次の2件の議案等を採決するにあたり、討論がありました。その要旨をご紹介します。

1. 借上型区民住宅を存続し、中堅所得層が住み続けられるように住宅施策の充実を求める請願

【反対の意見】

現在、本区の定住人口は59,000人を超えている。今後も民間住宅の供給が進み、人口の増加が見込まれることから、現行制度の役割は果たされたものと考える。また現在、借上型区民住宅に居住されている方々に対しては、区から円滑な住み替え支援や継続居住のための家賃助成等、丁寧な対応が行われる。したがって、本請願の採択に対しては反対する。（はやお）

【賛成の意見】

区内住宅市場では中堅所得層が住める住宅供給が少なく、借上型区民住宅の抽選倍率も常に数十倍以上となっている。また、当該住宅の廃止は、年金暮らし世帯に不安を与えている。区は請願者の要望に応えるだけの財源を保有しており、低所得世帯も含めた全ての居住者が、健康で文化的な生活のできる住宅を確保すべき。よって本請願の採択に賛成する。（飯島）

2. 在日米軍関係者による犯罪に抗議し、再発防止を求める意見書

【反対の意見】

米軍基地に起因する事件・事故の再発防止に対して実効性のある取り組みを求めていくことには賛同する。しかし、米軍基地の整理・縮小や、日米地位協定の改正については、その抑止力を維持しながら適切に負担軽減に取り組み、地位協定の運用の改善を求めている政府与党の取り組みに対しマイナスとなることから、本意見書に反対する。（大坂）

【賛成の意見】

沖縄には在日米軍基地の74%が集中し、日本駐留の海兵隊員のうち87.4%が沖縄駐留である。戦後米軍関係者による事件・事故は枚挙にいとまがない。事件・事故が繰り返されないために、早急に米国に対し厳重抗議し、再発防止策、基地整理・縮小について話し合う場を設定するよう強く求めるべきである。このような観点から本意見書に賛成する。（寺沢）

沖縄は米軍関係者による犯罪被害に何度も遭っており、その都度、「基地を減らしてほしい」「このような悲劇はあってはいけない」と訴えてきた。しかし、米軍関係者の犯罪に対する処罰は甘く、米軍が適切に対応しているとは思えない。よって、米軍基地の整理・縮小と日米地位協定の見直しを視野に入れた再発防止策を求める本意見書に賛成する。（岩田）

委員会で取り扱った請願・陳情（平成28年4月5日～平成28年7月12日）

※詳細は、区議会ホームページでご覧になれます。

請願名及び陳情名（受付順に掲載）	付託・送付委員会 （ ）は参考送付	審査状況 （平成28年7月12日現在）
借上型区民住宅を存続し、中堅所得層が住み続けられるように住宅施策の充実を求める請願	企画総務委員会	審査終了
お茶の水小学校・幼稚園を可及的速やかに現在地において建てかえることを求める陳情	お茶の水小学校・幼稚園の改築と周辺地域の整備特別委員会	審査終了
借上型区民住宅を延長し、継続して区内に居住できるように、施策の充実を求める陳情	企画総務委員会	審査終了
改めて朝鮮民主主義人民共和国に対する抗議文の発出を求める陳情	（議会運営委員会）	審査終了
千代田区議会における陳情の取扱いの改正を求める陳情	（議会運営委員会）	審査終了
区職員執務室の個室等の除去に関する陳情	（企画総務委員会）	審査終了
国及び都に動物の殺処分を禁止にすることを求める意見書の提出に関する陳情書	（地域保健福祉委員会）	審査終了
千代田区職員任用等の改正を求めることに関する陳情	（企画総務委員会）	審査終了
義務教育課程における平和教育に係る課題図書に関する陳情	（地域保健福祉委員会、子育て文教委員会）	審査終了
消滅の危機に瀕する言語の保全及び継承を求めることに関する陳情	（地域保健福祉委員会、子育て文教委員会）	審査終了
障がい表記へ改めることを求める陳情	（地域保健福祉委員会）	審査終了
千代田区役所庁舎において区旗，都旗及び国旗の総ての掲揚を求めることに関する陳情書	（企画総務委員会）	審査終了
在日朝鮮人の人権擁護の強化を求める陳情	（地域保健福祉委員会）	審査終了
千代田区立図書館取扱図書の規制の強化等を求める陳情書	（地域保健福祉委員会）	審査終了
議場において区旗，都旗及び国旗の総ての掲揚等を求めることに関する陳情書	（議会運営委員会）	審査終了
〈改めて〉外国人の扶養親族の透明化と〈更なる改善〉を求める陳情書	（地域保健福祉委員会）	審査終了
殺処分に係る施設見学を義務教育課程に含むことを求めることに関する陳情書	（子育て文教委員会）	審査終了
議員及び職員による動物殺処分施設の視察を求める陳情	（議会運営委員会、地域保健福祉委員会）	審査終了
正規職員採用試験等の制度改革に関する陳情書	（企画総務委員会）	審査終了
乳幼児人口の急増に対応した早急な区立幼稚園の定員拡充等を求める陳情	子育て文教委員会	審査終了

※「請願名及び陳情名」は、原文どおりに記載しています。

▌インターネット中継がスマホ等での視聴に対応！

本会議のインターネット中継（録画中継）が、スマートフォン・タブレット端末や「Internet Explorer」以外のブラウザ（Google Chrome 等）でもご覧いただけるようになりました。

9月に開催予定の第3回定例会では、ライブ中継の視聴にも対応しますので、この機会に是非ご覧ください。

常磐橋 輪石復旧施工模型

委員会の記録は、区議会ホームページや区役所７階の区議会事務局でご覧になれます。

3月～6月の主な活動

月／日	日　程
3／25	議会運営委員会
4／ 4	地域保健福祉委員会
25	議会運営委員会
	お茶の水小学校・幼稚園の改築と周辺地域の整備特別委員会
26	地域保健福祉委員会・国内行政調査【レインボーハウス明石等】
5／ 9	子育て文教委員会・国内行政調査【麹町保育園新園舎】
10	企画総務委員会
12	政務活動費交付額等審査会
17	公共施設整備特別委員会・国内行政調査【旧練成中学校等】
19	お茶の水小学校・幼稚園の改築と周辺地域の整備特別委員会
25	議会運営委員会
	企画総務委員会
	地域保健福祉委員会
	子育て文教委員会
27	議会運営委員会
	〈平成 28 年第 2 回千代田区議会定例会告示日〉
6／ 2	議会運営委員会
	お茶の水小学校・幼稚園の改築と周辺地域の整備特別委員会

▌熊本地震の被災者の方々に義援金を送金

4月26日㈫JR 市ヶ谷駅、4月27日㈬JR 秋葉原駅で、全区議会議員25名により、災害義援金の募金活動を行いました。

募金額の合計は27万5,000円となり、熊本県、大分県に13万7,500円ずつ送金しました。

▌千代田区平和使節団へ参加

○秋谷こうき　議員

場所　沖縄県及び鹿児島県

期間　平成28年7月21日㈭から7月24日㈰まで

○大坂隆洋　議員

場所　広島県

期間　平成28年8月5日㈮から8月7日㈰まで

○池田とものり　議員

場所　長崎県

期間　平成28年8月8日㈪から8月10日㈬まで

▌会派名の変更

4月22日付で、会派名の変更がありました。

変更は次のとおりです。

○　「千代田を紡ぐ会・民主」　幹事長　寺沢文子

→「千代田を紡ぐ会・民進」　幹事長　寺沢文子

○　「維新・クリーン千代田」　幹事長　岩田かずひと

→「民進・クリーン千代田」　幹事長　岩田かずひと

子育て文教委員会国内行政調査　〈平成28年6月30日～7月1日〉

軽井沢少年自然の家では、例年、小学5年生が春・秋に「嬬恋自然体験交流教室」を、中学校及び中等教育学校1年生が「オリエンテーション合宿」を実施してきました。しかし、施設の老朽化をはじめ、移動に伴う活動時間等の制約や実施時期が寒冷であるといった課題があり、見直しの結果、平成28年度から異なる地域の施設で実施しています。

子育て文教委員会は、今後の論議の参考とするため「少年自然の家」並びに近隣にある類似施設のほか、現在、児童が校外学習で利用する施設等の現地調査を実施しました。

少年自然の家の調査では、施設の老朽化をはじめ、食堂を兼ねた体育館、二段ベッドやトイレの形態が時代に合わない状況となっている等の課題を確認しました。

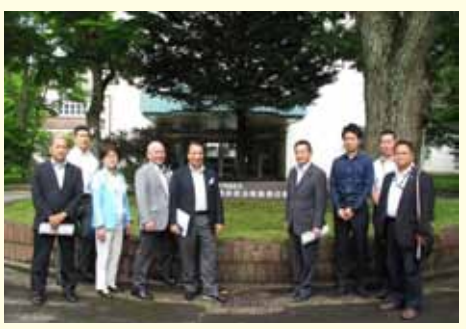
近隣にある練馬区立少年自然の家は、千代田区と比べ敷地、建物の規模が大きく、トレッキングにも活用できる「練馬区遊々の森」を有しています。

部屋・設備等は児童・生徒の校外学習用と一般利用客用に分けながらも一体的なつくりとし、地下部分の有効活用により建物の高さを抑えるなど効率的な運用がなされていました。

軽井沢から嬬恋村まで移動し、児童が体験学習を行った畑に立ち寄り、移動距離や時間、嬬恋村の児童との交流などにおける効率性の観点から調査を行うとともに、児童が自然体験教室で植えたジャガイモ等の成果を見学しました。

児童の宿泊・活動拠点である東海大学嬬恋高原研修センターは旧嬬恋自然休養村の至近にあり、嬬恋村児童と交流活動が円滑に行えること、会議室・ホール・グラウンドを備え、宿泊・活動拠点として充足していることを確認しました。

以上の調査を踏まえ、校外教育に適した施設・環境および軽井沢少年自然の家の活用等について、今後、さらに論議を進めていきます。



軽井沢少年自然の家

議案の審議結果等（平成28年第2回定例区議会）

可…可決/否…否決/採…採択/不…不採択
○…賛成/×…反対/欠…欠席/退…退席/除…除斥

議案名等 ＼ 議員名等		出席者数	投票数	賛成	反対	議決結果	1 岩田かずひと 民進ク	2 秋谷こうき 民進ク	3 岩佐りょう子 紡民	4 寺沢文子 紡民	5 大串ひろやす 公明	6 米田かずや 公明	7 大坂隆洋 自民	8 池田とものり 自民	9 山田丈夫 自民	10 飯島和子 共産	11 牛尾耕二郎 共産	12 木村正明 共産	13 小枝すみ子 声	14 小林たかや 声	15 戸張孝次郎 自民	16 永田壮一 自民	17 内田直之 自民	18 嶋崎秀彦 自民	19 たかざわ秀行 千代田	20 はやお恭一 千代田	21 林則行 千代田	22 河合良郎 千代田	23 松本佳子 自民	24 小林やすお 自民	25 桜井ただし 自民	議決月日
議員提出議案	給付型奨学金の早期の創設を求める意見書	25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長は採決に加わりません	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/23
	在日米軍関係者による犯罪に抗議し、再発防止を求める意見書	25	24	8	16	否	○	×	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	6/23
区長提出議案	千代田区家庭的保育事業等の認可に係る設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	25	24	18	6	可	×	○	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/23
	千代田区地区計画の区域内における建築物等の制限に関する条例の一部を改正する条例	25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/23
	西神田コスモス館昇降機改修工事請負契約について	25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/23
	歩道拡幅工事「明大通りⅠ期」請負契約について	25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/23
	平成28年度千代田区一般会計補正予算第１号	25	24	24	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/23
請願	借上型区民住宅を存続し、中堅所得層が住み続けられるように住宅施策の充実を求める請願	25	24	5	19	不	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	6/23
報告	平成27年度千代田区一般会計予算の繰越明許費に係る歳出予算の繰越しについて	―																														6/14
	損害賠償請求事件に関し専決処分により和解した件について	―																														6/14

◆ 千代田区議会議員　　条例定数25名　現員数25名

平成28年第2回定例区議会　会期日程〈会期21日間〉

月／日	本会議・委員会関係日程	月／日	本会議・委員会関係日程
6／3	議会運営委員会	6／17	マンションと地域コミュニティ活性化特別委員会
	本会議（会期の決定・区長招集あいさつ等）		議会のあり方に関する調査特別委員会
6	議会運営委員会	20	議会運営委員会
13	議会運営委員会		お茶の水小学校・幼稚園の改築と周辺地域の整備特別委員会
	本会議（代表質問・一般質問）		
14	議会運営委員会	21	企画総務委員会
	本会議（一般質問）		地域保健福祉委員会
15	企画総務委員会		子育て文教委員会
	地域保健福祉委員会	22	議会運営委員会
	子育て文教委員会	23	議会運営委員会
16	公共施設整備特別委員会		本会議（議案の議決等）
	オリンピック・パラリンピック対策特別委員会		

赤坂プリンス　クラシックハウス

区議会だより編集委員会の構成

委 員 長　小林やすお（自民）
副委員長　河合良郎（千代田）
委　　員　永田壮一（自民）
池田とものり（自民）
牛尾耕二郎（共産）
小林たかや（声）
岩佐りょう子（紡民）
米田かずや（公明）
秋谷こうき（民進ク）